



出雲崎中学校だより

＜第2号＞

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和6年7月24日発行

「ふるさと出雲崎を愛し、未来の生き方を創造する」～総合学習～

出雲崎中学校では、「ふるさと出雲崎を愛し、未来の生き方を創造する～郷土学習と生き方学習～」というテーマを掲げ、総合的な学習の時間の授業に取り組んでいます。今年度も学年ごとに課題を設定し、“地域と関わり、地域から学ぶ”活動を取り入れながら、学びを深めています。地域のよさを発見し、地域で働く方々の姿から学ぶことによって、一人一人が自分の将来やふるさとの未来を思い描くことができればと考えています。1学期も、多くの方が生徒と関わってくださり、貴重な体験を積み重ねることができました。

環境学習(1学年)

1年生は現在、「郷土の環境(自然・歴史・文化)を知る～郷土のよさを発見しよう～」という探究課題に取り組んでいます。自然環境を生かし、社会生活を豊かなものにするために、出雲崎町や日本国内、また世界の人々がどんな努力をしているかを学び、理解を深めていきます。

《農業講話》

5月27日(月)に、出雲崎町役場産業観光課の_____様をお迎えし、「出雲崎の農業の現状と課題」について講義をしていただきました。_____様からは、出雲崎町の農業従事者の現状や農家数の推移、水田の整備状況等を丁寧に説明していただきました。出雲崎町も全国的な傾向に違わず、高齢化や従事者数・農家数の減少が深刻であること、持続可能な農業の発展を目指し、町も様々な支援策を講じていることがよくわかりました。授業後の生徒の感想には、「町の方々が一生懸命作られたお米に感謝したい」「自分にできることはないかを考え、取り組んでいきたい」といった記述がありました。

《「にいがたゼロチャレ30」学習会》

5月28日(火)には、新潟県地球温暖化防止活動推進センターの_____様、_____様、そして吉本新潟住みます芸人の「大谷ってヤツですよ！」様をお迎えして、地球温暖化の現状や温暖化防止のために大切なことなどを学習しました。地球温暖化の問題は、決して他人事ではなく、私たち一人一人が未来への危機感をもつことが大切であり、具体的にはカーボンゼロに向けた「グリーンカーテン」の取組等が進められているといったことを学びました。出雲崎中学校は、今年度も町役場町民課からお声掛けをいただき、「にいがた緑の陣」の取組に参加します。教室での学習の後、実際にゴーヤの苗植え作業も行いました。現在、1年生教室の窓を緑のカーテンが覆い始めており、7月23日(火)現在で19本のゴーヤを収穫することができました。今年はゴーヤの生育が順調で、昨年と同時期より10本多い収穫数です。今後が楽しみです。

新潟県地球温暖化防止活動推進センターの_____様からは、7月16日(火)にも新潟国際情報大学の学生さんとともにお越しいたごき、SDGsの取組、「にいがたゼロチャレ30」の取組についての学習を進めていただきました。地球温暖化に関する新潟県の現状について改めて理解を深めるとともに、カーボンゼロに向けた「にいがたゼロチャレ30」の取組の中で、「自分にできること」「町の人にも伝えていきたいこと」等を考えたり、学生の皆さんと編成したグループで議論したりすることができ、大変有意義な会になりました。

《フランチキャンパス》

6月28日(金)に、新潟大学准教授の_____様、_____研究室の大学生・大学院生の皆さんをお迎えし、今





年度第1回目のランチキャンパスを開催していただきました。ランチキャンパスは、SDGsに基づいた「大学と地域が連携した新たな教育モデルの構築」を目指したプロジェクトの一環で、大学の先生や学生さんが、キャンパスの外に出て皆で学びを深めようという交流型の授業形態です。今回は、「みんなでSDGsを考えよう！出雲崎町のSDGsを探そう！」というテーマで、___先生の講義を受講し、学生の皆さんとグループワークを行いました。___先生の魅力的なお話や学生の皆さんとの交流は、生徒にとって新鮮で、新たな発見や気付きがたくさんあり、とても貴重な機会になりました。

職業学習(2学年)

2年生は現在、「郷土の人から学ぶ～地域で働く人々の姿から学ぼう～」という探究課題に取り組んでいます。地域で働く人々の姿から、職業生活、社会生活に必要な知識、技術、技能の習得への理解を深めようということで、今年度に入り、世の中にはどんな職業があり、働くということはどんな意義があるのかといったことについて、未来の自分の姿を思い浮かべながら、調べたり、考えたりしています。

《町の仕事や町民への思いを学ぶ》

5月28日(火)に、出雲崎役場総務課の_____様をお招きし、私たちの日常生活に最も身近な出雲崎町役場の仕事について講義していただきました。帆苺様からは丁寧にスライド等の資料を用意していただき、町民一人一人の暮らしを豊かなものにするために役場には多くの部署があり、それぞれが責任をもって町民のニーズに答えている。さらに関連の様々な事業所も町民のために仕事をしているということを知りやすくお話していただきました。授業後の生徒の感想には、「町役場の方々が、地域の人たちに寄り添ってより良い町づくりをしていることがよくわかった」「町が教育費に多くの負担をしてくれていることがわかった」「“まちづくり＝ひとづくり”という言葉がとても印象に残った」といった記述がありました。

《職場体験学習》

2年生は、7月11日(木)・12日(金)に、町内の14事業所からご協力をいただき、職場体験をさせていただきました。体験活動に先立ち、ハローワークからご支援をいただき、6月25日(火)にキャリアコンサルタントの_____様をお招きし、「職業ガイダンス」を行いました。“語先後礼”の挨拶の仕方等、社会的マナーや所作などを学んだり、現在の就職事情等を教えていただいたりしました。職場体験に生かせる内容が盛り沢山で、大変勉強になりました。

職場体験をさせていただいた事業所の皆様には、事前打ち合わせから当日の受け入れまで、多大なるご協力をいただきました。生徒は、初めての経験で大変緊張した様子でしたが、働くことの厳しさや尊さを肌で感じる事ができたようで、本当に貴重な経験となりました。今回、ご協力をいただきました事業所の皆様方に、心より感謝申し上げます。

【ご協力をいただいた事業所(敬称略・順不同)】

出雲崎こども園・小木之城保育園・町社会福祉協議会(ふれあいの里)・越後工業株式会社・出雲崎郵便局・有限会社佐藤石油・セブンイレブン出雲崎バイパス店・全日食フードセンター出雲崎店・大新潟カントリークラブ出雲崎コース・磯野紙風船製造所・株式会社つるや・町役場総務課・町役場建設課・町教育委員会

出雲崎の未来、自分の将来を考える(3学年)

3年生は現在、「郷土の未来を考える～地域の一員として将来を考えよう～」という課題に取り組んでいます。今年度も、「出雲崎町のよりよい未来」を提案するために様々な情報・手段を駆使し、自分や町の将来について真剣に考えています。3年生の取組については、2学期の学校だよりで紹介させていただきます。

